

- 場所 大阪府立市岡高校同窓会館
- 日時 金曜日午後7時から8時半
- ボランティア参加費  
入会金 1,000円  
年会費 3,000円
- 学習者は無料

現在、29カ国の学習者と交流しています。

市岡国際教育協会・日本語教室は、大阪府立市岡高校定時制の閉鎖を受けて、働きながら学ぶ「定時制の灯」を消したくないと定時制の同窓会が中心となり1996年5月にスタートしました。現在はNPO市岡国際教育協会が運営し、市岡高校同窓会に後援して頂いております。  
URL: <http://ichioka-nihongo.org/>

発行人/市岡国際教育協会理事長 吉田徳夫 /編集/広報係  
大阪市港区市岡元町 2-12-12 TEL/FAX: 06-6582-0348  
市岡日本語教室は「安田謙字寄金」の助成を得ています。

## 高校生ボランティアを迎えて

この春から2人の高校生ボランティアが受付、インフォメーションで活躍しています。旭高校2年の村尾友果さんと、今宮高校1年のソルハンさんです。ソルハンさんは、中国内モンゴル出身で、元は市岡日本語教室の学習者でした。今号では、2人のエッセイと、高校生ボランティア第1号の桑田裕子さん（現在は関西外大1年）のエッセイを特集します。本協会最年少メンバー3人の考えを聞いてください。  
(写真は左から、村尾さん、桑田さん、ソルハンさん)

## Ciao! Mi chiamo Tomoka. Piacere

私は今、高校でイタリア語を勉強しています。私の通っている旭高校には国際教養科があるため、様々な国からの留学生がやってきます。この日本語教室を知ったきっかけも私の通っている学校がこのようなものだからでした。今年2月頃、韓国からの留学生を私の家で受け入れました。その時に、私のおばさんから、「市岡高校で日本語教室をやってみないだろうか」と言われました。私はおもしろそうだなと思いついて、その韓国の子について行くことにしたのでした。そして、4月からボランティアとして来ることにしたのでした。4月、5月あたりはインフォメーションの仕事をしていましたが、最近は台湾の方に日本語を教えています。(私が日本語を教えているというより、一緒に日本語を勉強しているという感じがしますが...) 外国の人に日本語を教えて

いると「逆に私が日本語を勉強し直さないといけないかも...」と思うと同時に「日本語ってこんなつくりになってるんだな」と感心しています。だから、私が見ているものの方が多い気がします。そんな、未熟者の私へたっぴな教え方でも、毎週楽しみに来てくれる学習者の人がいると思うと、これからはがんばろうと思います。この日本語教室で得たものが、私の将来にどのような影響を与えていくのかは、まだ全く分かりません。(私の将来の夢があまりにもおぼろげなため...)。しかし、国際的な仕事に就きたいとは思っています。なんらかの形でここで得たもの、これから得るものを将来に役立てたいと考えています。そして、ずっとこのボランティアを続けていきたいと思えます。とても楽しいので... (村尾友果)

## 私の高校生活



今年の四月に私は憧れの今宮高校に入学でき、毎日充実した高校生活を送っています。今宮高校に入ってから、その出会いがありました。その中でも、水球と出会えたことが私の毎日を充実させています。水球は英語で Water polo といいます。プールの中でハンドボールをするとても面白いスポーツです。ヨーロッパではとてもメジャーなスポーツですが日本ではあんまり知られていません。友達に誘われてなんともなく見学に行った水球部のミニゲームはとても迫力がありました。先輩方は皆ムキムキ、しかも真っ黒に焼けていて、とてもかっこよく見えました。泳げない私は、マネージャーになりたいと思ひ、入部しました。

放課後にプールで練習する選手たちにドリンクを作ったり、ボールを拾ってあげたり、声を出して応援したりして、地道に選手たちを支えています。暑い日は辛いプールサイ

## 日本語教師を目指して

こんにちは。私は、関西外国語大学1年生です。将来、プロの日本語教師を目指しており、その資格を取得するため、この大学への入学を決めました。その夢を決めるきっかけとなったのは、このボランティア活動へ参加したことでした。私は、高校1年の秋から活動に参加しており、3年生になるまで続けました。その間、受験勉強のためお休みしました。そして大学入学後から、再び続けています。

今までの約15名の学習者の方(臨時や初回だけの方を含めて)と市岡で出会いました。15名中3名の方と主に学習しました。最初の方は、ジャマイカ出身の女性でした。彼女とは一年ほど共に学習しましたが、初めの頃は、学習してもそれを話そうともしてませんでした。しかし、回数を重ねる度に、挨拶をして、彼女が見たり聞いたり学習したことを日本語で話してくれるようになり、秋の遠足では、現地の日本人に道を尋ねに行く(勿論、日本語で)など、努力されてきました。その姿を見て、とても感動したので覚えています。その次に担当した方は、中国出身の男性です。当初、彼と学習する際、私は漢字を用いていました。しかし調べたところ、中国の漢字の意味と日本の漢字の意味との間には、「段差」があったのです。漢字によっては、対照の意味をもつものもありました。その次の学習からは、漢字、イラストや写真などを用いたり、試行錯誤しながら「意味差対策」をしました。そして今、担当しているのは、コロンビア出身の女性です。彼女はとても明るく、前向きです。私はこれからも、彼女が前向きにまた、ちょっとでも学習が楽しくなるように、微力ながらも支えていきたいと思っています。私は毎週、週1回の学習日をとって楽しみにしています。これからも続けさせていただきます。これからの学習者の方、宜しくお願致します。

(桑田裕子)

ドですが毎日楽しく過ごしています!!  
高校に入学できてよかったです。  
(ソルハン)